

事務事業名	楡形総合公園バリアフリー化改修事業(補助)		所属部局	建設部	単位番号	7145					
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	都市計画課	課長名	川崎 成一					
			所属担当	都市整備	担当者名	古屋 桂					
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 08	項 04	目 03	細目 020	細々目 06	
政策	13	都市空間の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金							
施策	21	安らぎ空間の整備									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 26 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		法令根拠								
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 防災公園に位置づけられている公園施設の一つである楡形総合体育館の改修に併せ、進入路のユニバーサルデザイン化により、体育館西側との一体化を図り、全ての利用者にとって使いやすい構造とする。また、楡形総合公園の未水洗のトイレの下水道接続を行い利用環境の向上を図る。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込)							
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
	園内の点字ブロックの設置、下水道未接続トイレの接続			委託費	3,672						
			工事請負費	16,861							
							計	20,533			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	園内の点字ブロック設置、下水道未接続トイレの接続
26年度活動内容	園内の点字ブロック設置、下水道未接続トイレの接続
27年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 公園利用者
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	園内のユニバーサルデザイン化により障害者、高齢者にとっても使いやすい公園の環境整備を行う。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	公園施設の安全対策、既存施設の有効利用による安らぎ空間の整備に繋げる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	点字ブロックの設置延長/園内バリアフリー化計画延長	%
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	公園利用者	人
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	公園利用者	人
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	公園など子供の遊び場に関する住民満足度	%

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)	
	事業費	国庫支出金	千円								
		県支出金	千円								
		地方債	千円			19,500					19,500
		その他	千円								
		一般財源	千円			1,033					1,033
		事業費計(A)	千円		0	0	20,533	0	0	0	20,533
	人件費	正規職員従事人数	人				2				2
		延べ業務時間	時間				100				100
		人件費計(B)	千円		0	0	455	0	0	0	455
		(A)+(B)	千円		0	0	20,988	0	0	0	20,988
		活動指標	%				100.0				
	対象指標	人				95,900.0				95,900.0	
	成果指標	人				95,900.0				95,900.0	
	上位成果指標	%				31.0				31.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	防災公園に位置づけられ、防災機能向上を目的に体育館改修が行われる。防災公園の機能向上施策であるユニバーサルデザイン化を一緒に進めると共に公園内の下水道未接続トイレの接続により一層の機能向上を図る
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	楡形総合公園がより一層市民にとって快適で安らぐ事が出来る公園として生まれ変わる。防災公園に位置づけられている公園としての整備要望は強くなる。また、高齢化社会への移行が進むにつれ安心して施設が利用でき
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	充実した施設の整備及び安全で安心できる憩いの場としての公園が切望されている。 障害者及び高齢者から、「段差解消、点字ブロック、」などの改修が必要との意見がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	既存施設の再配置利用により、利用者の利便性の向上及び整備事業費の圧縮。

事務事業名	楡形総合公園バリアフリー化改修事業(補助)	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	-----------------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市の施策として都市公園の整備を謳っている。市民が安全で安心できる公園の計画的整備を行うことにより、成果の向上に繋がる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 都市公園は公共施設であり利用者の多くは市民である。施設管理者である市が施設のよりよい維持管理を行わなくてはならない。 管理については、平成十八年度より指定管理者制度を導入し、一部の公園については民間に委託している。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 平成26年度単年度事業であるが、安全・安心して利用してもらうには必要により適切な修繕等が必要となる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 平成26年度単年度事業であるが、安全・安心して利用してもらうには施設管理のトータルコストを勘案して公園施設の長寿命化事業などにより必要により適切な整備を行うことにより成果の向上に繋がる。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 平成26年度単年度事業であり、バリアフリー化は個別事業であるので関連する事業はない。 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 平成26年度単独事業である。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 既存施設の再利用によるコスト削減等を行っている。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 積算時におけるシステム導入による人件費コストの削減に努めている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 利用者の多くが市民であるので、受益と負担について公平である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	利用者形態の多様化により重大事故防止のためにも、安心安全の向上を目的とした事業は必要である。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 平成26年度単年度事業であるが、施策の向上には利用者の安全確保のためには継続的な維持管理は必要不可欠となる。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 公園施設の点検等により施設の長寿命化対策などを行い、適切な維持管理を行っていく。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果																					
	コスト削減優先度評価結果																					